



じぶん せいかつたの
 ~ **自分の生活楽しんでますか?** ~

うんどう ひとぼめん
 とある運動の一場面



CONTENTS

P2 へい! ゆう! ちょっと待^まって.....

P4 いのままきままなひとり言^{ひとこと}.....

P6 Oh-Life!!.....

P8 かつどうほうこく^{活動報告}.....

◆「ぶるーむ」の由来^{ゆらい}◆

えいご 英語の bloom をひらがな^{ひょうき}表記したもので
 す。bloom には、「(花が) 咲く」「(才能・
 じぎょう 事業などが) 花開く」などの意味^{いみ}があります。
 きだきゅうしゅう ち じりつせいかつ じょう 北九州の地で、自立生活の土壌^{どじょう}をあら
 ためておこすこと^{はじ}から始め、それぞれの自立^{じりつ}
 せいかつ たね ういろ 生活の種^{じりつせいかつ}を植え、色とりどりの自立生活の花^{はな}
 が咲きほこるとい^{ねが}う願^{ねが}いをこめました。

不定期連載 へい！ゆう！ちょっと待って。

第2回 『事前連絡』は尊厳の問題

たなかゆうへい
田中雄平

新型コロナウイルスの流行は予断を許さないが、まん延防止重点措置も先日解除され、だんだん暖かい日も増えてきた。電車やバスなどの公共交通機関を使って外に出かけていきたい季節である。

そんな時に JR九州がいわゆる無人駅のさらなる拡大と駅の営業時間短縮を実施した。私が日々利用している駅も、これまでは20時10分まで駅員がいたのだが、これからは昼の12時までしかいないことになった。

障害があって電動車いすを使用する私のような、乗降にスロープ介助等サポートが必要な乗客が駅員のいない時間帯に電車に乗るときは、乗客自ら巡回スタッフの携帯電話に連絡しなければならなくなった。当然巡回スタッフが来るまで待たなければならず、これまでのように発車時刻の7、8分前に改札口に行ってその電車に乗ることが不可能となった。

JR九州は、「事前連絡にご協力いただければ希望の電車をスムーズにご利用いただけます。」と言う。

コロナ禍で経営環境が厳しいこの時期、限られた人員の中でも『事前連絡』すれば対応してくれるのだからそれでいいじゃないかという意見もあるだろう。

しかし、よく考えてほしい。

障害のない乗客の誰が事前に駅に連絡して電車に乗っているだろうか。

障害者差別解消法の国土交通省の対応指針には、「障害があることのみをもって、乗車できる場所や時間帯を制限し、又は障害者でない者に対して付さない条件をつける」ことは不当な差別的取扱いにあたると明確に書いてある。

『事前連絡』は障害者でない者に対して付さない条件をつけることそのものである。このことは改めて、とくに障害当事者は押さえておくべきだと思う。

※ ※ ※

JR九州は、交通ネットワーク維持の（路線を廃止しない）ためには駅の無人化が必要と言う。

公共交通機関はそもそも自分で車を運転できない人が利用することが多いと思われる。その代表が私たち障害者である。そこには一定の割合で乗降にサポートが必要な人がいる。

しかも、現在電車を使っている障害者は障害者のなかでもまだ少なく、潜在的な利用者
はもっとたくさんいるはずだ。

JR九州は、本来この人たちを顧客のターゲットにしなければならないのである。
今のように無人駅をどんどん拡大していくと、潜在的利用者はいよいよ電車利用をあ
きらめ、結果として乗客はさらに減り、さらに無人駅を増やさなければならなくなる。
まさに『負のスパイラル』である。

そうではなくて、サポート体制を充実してそのような人の電車利用を掘り起こして
乗客を増やしていけば、鉄道事業の収支も改善が見込まれ好循環を生める。
JR九州には根本的な発想の転換を求めたい。

私は25年間、『事前連絡』などせずに電車を『普通に』利用して、仕事に行き、病院
に行き、遊びに行き、デートにも行き、そして生涯のパートナーも見つけた。
豊かな人生の基盤に制限のない電車利用があり、それを具体的に支えてくれていたの
がそれぞれの駅の駅員さんによる乗降介助である。

その乗降介助に『事前連絡』という条件を付されるのは、大げさに思われるかもしれ
ないが、一人の人間として扱われていないと感じる。尊厳を傷つけられる思いであり、
強い憤りと悔しさを感じている。
人間としての尊厳を守るため、私はこれからも『事前連絡』の差別性を訴えていく。

以上

意のまま気ままな独り言

ソノ

【変えれないと帰れない】

ぼくはコンビニと言えばセブンイレブンをよく利用しています。ちなみにコンビニは英語で表すと convenience store となります。日本語では便利なお店となるので、そのままの意味でつけられたんでしょうかね。当然ながらコンビニは便利なわけで、ぼくが利用するときは料理をする時間がないときやご飯をすぐすみたいときなど主に食事を効率よくしたいときに行きます。

買うものはだいたいいつ行っても同じようなものであまり冒険しないし、できません。夕飯で食べるものに至っては絶対にあれを食べようと決まっていて、特に悩んで買うということはないんです。コンビニの便利さをさらに効率よくするように乗っかっているといえますか。だから、もし悩んでしまい時間がかかってしまったら、買うものまで決めて挑んでいるのに何のためにコンビニを利用したのか、意味がないわけです。

この前帰宅が遅くなったときがありました。こんな日は、便利に甘えようと、夕飯に絶対食べるあれを買って帰ろうと思いセブンイレブンに行くことにしました。しかし、棚を見ると、その日に限っていつもあるはずのぼくの絶対がなかったんです。運悪く売り切れだったんでしょうか。

とてつもない衝撃が襲う中、ぼくは平然を装っていましたが、いつもと違うものを手に取っては戻し手に取っては戻しを繰り返しながら呼吸を整えながら、それ待ちになっている口とお腹を一旦リセットするために必死になっていました。かなり不安定な状態だったと思いますが、どうにか立て直して今日の夕飯を少しでもよい夕飯になるよう迎えたい、そんな思いでした。

30分は経ったでしょうか。あまりにも夕飯に食べるあいつが絶対すぎて他のものを買ううにも買えず、事実を受け止めるのにはそれなりの時間が必要でした。そこで一旦買うという選択肢を捨てて考えてみることにしました。

でも、すぐにそれはダメだと思えました。買わずに帰るとなると自炊になる問題ができません。もうこれはしょうがないとしても、何も買わずに帰ると気が引ける問題はどうにもならないと思ったんです。なぜなら、気にしないでいいのかもしれないんですが、ぼくは店員さんを前に30分に及び悩んでいる風をお届けしてきました。さすがにここまで悩んでいる風をお届けしてこられたら何も買わずに帰るとは店員さんももはや思っていないのではないか。

つまり、ぼくが少しでも動けばその動きに反応して気を利かせるかのように瞬時にレジにて待ち構えるよう動いてくるのではないかということです。これは憶測ではなく、高確率で店員さんがレジに動くのを感じていました。二人いる店員さん両方ともよく目が合うんです。もうこのまま手ぶらで帰るわけにはいかない。コンビニで30分過ごすとはそういう時間なんだろう。

ということで、、いつも買うじゃがピーを2つ。逃げるように買って帰りました。それではここで一句「便利だと コンビニ使うも かえれない」

ちなみにこの日は豚バラともやしを炒めて焼きそばを作って食べました。どんどん物価が上がっている中で、生麺タイプのやつが安くて重宝しています。まず削るのは食費になっちゃっていますね。

総会報告

昨年12月18日（土）、自立生活センターぶるーむにて第12回通常総会を行いました。お忙しい中、34人の会員の方が出席してくださいました。（評決委任者23名）師走の忙しい時期に出席して下さった皆様、ありがとうございます！！

Oh-Life

K II

第26回 隣の芝生は・・・

「こんな時に障害者の友だちがいればねえ・・・」小さい頃に周りの大人がよく言っていたことだ。僕は、小学校の頃から普通の学校に通っていたので、障害者の知り合いがあまりいなかった。なので、僕も大人と同じようなことを考えていた。だが、実際に会う機会が訪れるとどうということだろう。なかなか上手くいかないのである。

僕の通っていた高校には、2つ上の学年に障害者の先輩がいた。高1の僕と高3の先輩にほとんど接点はないのだが、体育祭の見学用のテントにて、初めて隣同士に並ぶこととなった。「同じ障害者同士、積もる話もあるだろう」という先生の配慮だったらしい。障害者同士だから話が合うというのが、全て間違っているとは思わない。ただ、少なくとも僕は、常に障害のことを考えて悩んでいるわけではない。なので、初対面の人といきなり積もる話と言われてもお互いに困るのである。結局、その時は、「暑いですね〜」「そうですね〜、暑いですね〜」というやりとりくらいしかできなかった。

この僕の意志とは関係なく、特殊な場をセッティングされるという経験は、かなり多い。「中学生の選択授業の時に、みんな自分の興味のある授業を選択するのだが、なぜか僕だけ最初から福祉の授業で固定されていた」「福祉学習で車いすバスケの選手の講演があった時に、僕だけ講演後に残って講師の人たちと個人面談」など、全てを挙げればきりが無いほどだ。あと、「福祉用具の研究をしている障害者の先生に、車いすのクッションをオーダーメイド??で作ってもらおう」ということもあった。当時の僕としては、クッション??という感じだったが、なかなか無い機会だったらしい。

どれも僕の事を考えて用意してもらった場なので、少しは良い話が出来ればと思うのだが、「で、君は何のスポーツをやっているの?? 何のスポーツをやりたいの??」や「地べたを這って生活してるの?? ありえない。」と、開始早々出鼻を激しく挫かれるのである。そんな状態で良い話などできるはずもなく、相手のペースは進む。

そして話が終わり、僕の心中とは真逆の超爽やかな笑顔で帰っていくのだ。一方僕は、「なぜあの人たちは、自分たちの常識を当然のように押し付けてくるんだ?!」「なんで、家では車いすから降りて生活していると説明しただけで、地べたを這う～なんて言われなきゃいけないんだ?!」と憤慨しながら家に帰るのである。

率直に嫌な思い出ではあるが、月日が経ち冷静になると、あの人たちも僕と話をしてくれる以前にたくさんの努力や悩みを経験してきたんだろうなと思えるようになった。きっと、「地べたを這う」や「車いすスポーツ」はあの人たちにとって、とても重要なことだったのだろう。まあだからといって、人の心を害して良い訳では無いと思うのだが……。

障害者は健常者と比べると、色々なことでマイナスからのスタートになることが多い。なので、どんな障害者の人でも日々何らかの努力や苦勞があるのだと思う。ちなみに、ここで書いた努力や苦勞というのは、形や質も人それぞれである。物理的に頑張っている人もいれば精神的に頑張っている人もいだろう。そして、日々の努力や苦勞を他の人に知って欲しいし、理解して欲しいからこそ誰かに伝えようとするのではないだろうか。だとすれば、福祉用具の先生や講師の人たちの言動がキツく感じたのも頷ける。いろいろ頑張ってきたからこそ、心の中で譲れないことや許せないことがいくつもあるのだろうか？

障害者は聖人という訳では無い。個々に良い部分や悪い部分のある普通の人間である。どの障害者にも、腹を割って話せるほど仲良くできる相手もいれば、自分がどう頑張っても仲良くできない相手もいる。「友だち100人～」という歌詞の歌があったが、あれは歌の話なので、自分が苦手な相手と無理に接する必要はないのではないだろうか。皆、程々にねという感じなのだが、これが一番難しいのである……。

かつどう ほうこく

活動報告

れいわねんがつ れいわねんがつ
令和3年4月～令和3年11月

がつ
4月



すいしんきょうかいせいどがくしゅう かいぎ
推進協会制度学習スカイプ会議

きゅうしゅう かいぎ
JIL九州スカイプ会議

とくべつしえんがっこう かいぎ
特別支援学校プロジェクト会議

きたきゅうしゅうししょうがいふくしけいかく
北九州市障害福祉計画
パブリックコメントに向けての学習会

がつ
5月



すいしんきょうかいせいどがくしゅう かいぎ
推進協会制度学習スカイプ会議

きゅうしゅう かいぎ
JIL九州スカイプ会議

どういつろうどうどういつちんぎんがくしゅうかい
同一労働同一賃金学習会

しょうがいしゅ しんがた かんせん にゅういん
障害者が新型コロナウイルスに感染して入院
する ばあい じゅうどほうもんかいご りよう かん
場合の重度訪問介護サービス利用に関する
よつぼう
要望

がつ
6月



にほんきん きょうかいふくおかけん し ふ そうかい
日本筋ジストロフィー協会福岡県支部総会

すいしんきょうかいせいどがくしゅう かいぎ
推進協会制度学習スカイプ会議

きゅうしゅう かいぎ
JIL九州スカイプ会議

とくべつしえんがっこう かいぎ
特別支援学校プロジェクト会議

ぜんこく
JIL全国オンラインセミナー

のおがたとくべつしえんがっこう じゅぎょう
直方特別支援学校Zoom授業

にほんきん きょうかいそうかい
日本筋ジストロフィー協会総会

しんけいきんしつかんとうじしゃ ざだんかい
神経筋疾患当事者Web座談会

がつ
7月



すいしんきょうかいせいどがくしゅう かいぎ
推進協会制度学習スカイプ会議

きゅうしゅう かいぎ
JIL九州スカイプ会議

とくべつしえんがっこう かいぎ
特別支援学校プロジェクト会議

すいしんぜんこくけんしゅうかい
推進全国研修会

すいしんだいひょうきゅう ざだんかい
推進代表級Zoom座談会

活動報告

がつ
8月



しょうがいしゃさべつかいしょうしえん
障害者差別解消支援のための
じぎょうしやむ かいぎ
事業者向けアンケート配布

いっばんしやだんほうじん
一般社団法人わをんからインタビュー

すいしんきょうかいせいどがくしゅう かいぎ
推進協会制度学習スカイプ会議

きゅうしゅう かいぎ
JIL九州スカイプ会議

とくべつしえんがっこう かいぎ
特別支援学校プロジェクト会議

しんけいきんしつかんとうしや ざだんかい
神経筋疾患当事者Web座談会

くにきん びょうとう こうりゆうかい
国筋ジス病棟オンライン交流会

がつ
9月



とくしまきん
とくしま筋ジスセミナー

CIL HOPE SAGA オンライン交流会講師

とくべつしえんがっこう かいぎ
特別支援学校プロジェクト会議

かいせいしょうがいしゃさべつかいしょうほうがくしゅうかい
改正障害者差別解消法学習会

すいしんきょうかいせいどがくしゅう かいぎ
推進協会制度学習スカイプ会議

こうかく きたきゅうしゅう
リハ工学カンファレンス in 北九州

きゅううせいほごほうさいばんがくしゅうかい
旧優生保護法裁判学習会

しょうだんれんせいさくけんしゅうふかい
障団連政策研修部会

がつ
10月



きょういくすいしん
インクルーシブ教育推進フォーラム

じゅうどしょうがいしや しゅうろうしえん かん いけんこうかにかい
重度障害者の就労支援に関する意見交換会

しょうがいしゃさべつかいしょうじょうれいかいせい む いけん
障害者差別解消条例改正に向けての意見
こうかにかい
交換会

とくべつしえんがっこう かいぎ
特別支援学校プロジェクト会議

すいしんきょうかいせいどがくしゅう かいぎ
推進協会制度学習スカイプ会議

ふくおかとくべつしえんがっこう じゅぎょう
福岡特別支援学校Zoom授業

きゅうしゅう かいぎ
JIL九州スカイプ会議

さかい こ
境を越えてフォーラム2021

とくべつしえんがっこう せんせい ざだんかい
特別支援学校の先生との座談会

がつ
11月



じゅうどほうもんかいご ようほうしよ
重度訪問介護サービスについての要望書
ていしゆつ
提出

ぎゃくだいほうし ようせいけんしゅう
虐待防止インストラクター養成研修

かいごほしょう かんが べんごし しょうがいしや かいぜんこく
介護保障を考える弁護士と障害者の会全国
しゅうねん
ネット9周年シンポジウム

しょうがいしやけんりじょうやく ほしょう しょうがいしや けんり
障害者権利条約が保障する障害者の権利
じつげん あた こくないほう さんか
実現が与える国内法へのインパクト参加

こうりゆうかいさんか
SDGs交流会参加



さいきん いろいろ さわ 最近は色々と騒がしいですね。こうなって初めて、へいわ 平和であることのたいせつ 大切さにきづ 気付かされるかん 感じです。 【KII】

■ロゴについて■



この3つが繋がったチューリップには、3J=「自己選択」「自己決定」「自己責任」の意味と、この北九州の地で自分らしい、いきいきとした花を咲き誇らせてほしい・・・という願いがこめられています。

■会員募集■

自立生活センターの最大の特色は、運営や各種サービスを「障害者」自らが中心となって行っていることです。これは、「障害者」にとって何か必要かということが一番知っているのは「障害者」自身であると考えるからです。

「自立生活センターぶるーむ」はこの考えのもと、2007年10月に産声をあげました。当団体の活動は、皆さまからのご寄付と会費により支えられています。ご支援とご協力をお願い致します。

会員種別	年会費
正会員	3,000円
賛助会員	5,000円

【銀行振込】 銀行名：西日本シティ銀行 室町支店
 口座名義：特定非営利活動法人 自立生活センターぶるーむ 理事 田中雄平
 口座番号：1694039

編集人 NPO法人 自立生活センターぶるーむ

連絡先 〒802-0085

福岡県北九州市小倉北区吉野町10番19号パークプラザ三萩野3階

TEL 093-482-4832

FAX 093-482-4878

E-Mail cil-bloom@nifty.com

URL <http://cil-bloompage.world.coccan.jp/>

定価 100円